

# 『猪飼野地域新聞「おなら」復刻版』 (むくげ簡易印刷版叢書②)

2024年9月、定価：本体900円＋税  
むくげの会では、990円（送料、会負担）発売。  
前金、郵便振替で送金をよろしく。  
郵便振替<01120-5-46997 むくげの会>

(参考)

「猪飼野地域新聞「おなら」、その尻のつっぱり」  
『むくげ通信』312号（2022年5月29日）

<https://ksyc.jp/mukuge/312/hida.pdf>



(発行に際して)

猪飼野地域新聞『おなら』。神戸学生青年センターの引っ越し（二〇二一年五月）の時に、資料室に残っていた。なつかしい。が、学生センターに送られてきた経緯も、作成者もまったく思い浮かばない。欠号もある。

私は『むくげ通信』三一二号（二〇二二年五月二九日）に、「猪飼野地域新聞『おなら』、その尻のつっぱり」を書いた。むくげネットワークでその関係者から連絡が来るのではないかと期待していた。が、その期待は裏切られて反応がない。猪飼野関係の人々にたずねてもみたが、知らない、見たことがないという。

あきらめかけていたとき、関係者から連絡があった。

「インターネットで検索したら『おなら』の記事があった。うれしくて電話をした」

亡くなった清水達也さんの連れ合いさんの清水紀子さん。清水達也さんは『おなら』の中心メンバーのひとりだ。

その後、伊藤順さんから連絡があった。伊藤順さんも中心メンバーのひとりで、「いかいの迷店歩記（めいてんあるき）」などの原稿を書いている。また、聖公会生野センターの呉光現さんからは、2号の貴美さんを知っている。本人に確認したらそのとおりだったとのこと。

また、「いくのパーク」で旅行社をされている行澤公子さんからメールも。「『おなら』の出発と私の人生がほんの目と鼻の先で交錯している。自分も青春まっしぐらのロードムービーというか、凄く懐かしく読ませていただいた」

5号の編集後記には、「むくげの会のHさん、朝鮮語講座作文集をありがとう！」とある。このHは私で、むくげの会とはたしかに交流があったのだ。

『おなら』は、いまも匂いを放っている。

今回、不十分ながらも、飛田のむくげ通信の文を加えて復刻版を発行することにした。最近、「大阪コリアタウン歴史資料館」もできて注目されている「猪飼野」、そしてコリアタウン。その歴史の一部に記録されるべき『おなら』復刻版を刊行することに意義があると思う。さらにみなさんの協力をえて、欠号を発掘し、完成版『おなら』復刻版を発行したいと考えている。

二〇二四年一〇月一五日 むくげの会 飛田雄一